

平成 27 年 12 月 16 日

各 位

会 社 名 イーター電機工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 洋
(JASDAQ・コード 6891)
問い合わせ先 取締役管理部長 増田 幸一
(電話 03-3745-7762)

「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は平成 26 年 11 月 7 日に開示いたしました。「平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成 27 年 12 月 16 日)付「平成 28 年 3 月期第 2 四半期報告書の提出、過年度決算短信等の訂正および有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶ為、訂正前及び訂正後の前文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

〔訂正後〕



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 イーター電機工業株式会社
 コード番号 6891 URL <http://www.eta.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 浩之
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部长 (氏名) 増田 幸一
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

TEL 03-3745-7762

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 1,559 | △1.2 | 6 | 2.3 | 2 | △85.2 | △9 | — |
| 26年3月期第2四半期 | 1,578 | △0.3 | 6 | △92.7 | 19 | △42.0 | △1 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 6百万円 (△62.9%) 26年3月期第2四半期 16百万円 (△20.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | △0.95 | — |
| 26年3月期第2四半期 | △0.13 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 4,348 | 203 | 4.1 | 17.29 |
| 26年3月期 | 4,322 | 161 | 3.2 | 14.59 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 179百万円 26年3月期 138百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | | | |
| 27年3月期(予想) | | | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,600 | 11.5 | 130 | — | 140 | — | 100 | — | 10.52 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|-------------|----------|------------|
| 27年3月期2Q | 10,373,067株 | 26年3月期 | 9,511,067株 |
| 27年3月期2Q | 7,171株 | 26年3月期 | 6,546株 |
| 27年3月期2Q | 10,083,519株 | 26年3月期2Q | 9,504,521株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関する事項につきましては、平成26年5月15日に公表した業績予想に変更はございません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(訂正後)

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、一部には4月の消費税増税による駆け込み需要の反動は見られるものの、企業収益や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、円安による原材料や原油価格の上昇、新興国の経済成長鈍化など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

この様な状況の下、当社グループにおきましては、前期から引き続き、受注高が増加傾向で推移している中、生産子会社において増産計画が未実現のまま推移した事により、同社の収益が悪化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高1,559百万円(前年同四半期比1.2%減)、経常利益2百万円(前年同四半期比85.2%減)、四半期純損失9百万円(前年同四半期は四半期純損失7百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、「電源機器関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,348百万円となり、前連結会計年度末比25百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が21百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,144百万円となり、前連結会計年度末比16百万円の減少となりました。これは主に前受金が79百万円増加した一方、借入金が97百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は203百万円となり、前連結会計年度末比41百万円の増加となりました。これは主に増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ24百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は4.1%となり、前連結会計年度末から0.9ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度におきまして、22,142千円の営業損失でありましたが、営業キャッシュ・フローは107,061千円のプラスであります。

当第2四半期連結累計期間におきましては6,202千円の営業利益を確保しましたが、これまで資金調達のほとんどを金融機関各社に依存してきたことにより、当第2四半期連結会計期間末において有利子負債が2,225,391千円となっております。

当社グループにおきましては、前期から引き続き、受注高が増加傾向で推移している中、生産子会社において増産計画が未実現のまま推移した事により、同社の収益が悪化いたしました。今後におきましては、生産体制の整備をさらに推し進め、計画に沿った売上を実現し、利益改善に向けて継続して努力してまいります。

しかしながら、景気の不透明感が長引いている状況下において、受注動向の先行きは、必ずしも安定的に推移する見通し感が得られず、今後計画通りの売上を実現していく上において厳しい局面も予想されます。

その結果、返済原資の確保が困難となる事実の発生、および新規資金の調達について困難な局面も予想され、今後の資金繰りへ直接影響を及ぼすことが懸念される状況は続いております。

これらの状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

今後は、なお一層のコスト圧縮に努めるとともに、計画通りの売上高の実現を持って収益構造の改善を図ってまいります。

また、財務基盤の強化を図るため、収益の確保はもちろんのこと、取引金融機関に対しなお一層の協力・支援を要請しております。

しかし、これらの施策による効果の発現については、関係先との明確な合意を要する事案もあり、すべてを確定するに十分な状況には至っておらず、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 50,210 | 56,463 |
| 受取手形及び売掛金 | 73,272 | 77,472 |
| 商品及び製品 | 611,178 | 728,591 |
| 仕掛品 | 415,581 | 378,318 |
| 原材料及び貯蔵品 | 918,153 | 866,593 |
| その他 | 293,865 | 259,886 |
| 貸倒引当金 | △6,431 | △6,412 |
| 流動資産合計 | 2,355,829 | 2,360,912 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 953,601 | 953,082 |
| その他(純額) | 143,028 | 142,980 |
| 有形固定資産合計 | 1,096,630 | 1,096,062 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 24,585 | 23,707 |
| その他 | 24,714 | 20,372 |
| 無形固定資産合計 | 49,300 | 44,079 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 759,089 | 785,580 |
| その他 | 102,736 | 104,011 |
| 貸倒引当金 | △40,938 | △42,469 |
| 投資その他の資産合計 | 820,887 | 847,122 |
| 固定資産合計 | 1,966,818 | 1,987,264 |
| 資産合計 | 4,322,648 | 4,348,176 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 792,539 | 798,076 |
| 短期借入金 | 1,483,616 | 1,404,712 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 628,389 | 611,535 |
| 未払法人税等 | 13,441 | 12,498 |
| 前受金 | 872,687 | 951,812 |
| その他 | 223,560 | 226,426 |
| 流動負債合計 | 4,014,235 | 4,005,061 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 39,253 | 37,237 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,988 | 1,988 |
| 退職給付に係る負債 | 102,459 | 98,215 |
| その他 | 2,884 | 1,978 |
| 固定負債合計 | 146,585 | 139,420 |
| 負債合計 | 4,160,821 | 4,144,481 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,569,111 | 1,594,109 |
| 資本剰余金 | 761,121 | 786,119 |
| 利益剰余金 | <u>△2,229,691</u> | <u>△2,239,309</u> |
| 自己株式 | △1,949 | △1,986 |
| 株主資本合計 | <u>98,592</u> | <u>138,932</u> |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,258 | 5,149 |
| 為替換算調整勘定 | 36,809 | 35,136 |
| その他の包括利益累計額合計 | 40,067 | 40,286 |
| 少数株主持分 | 23,166 | 24,475 |
| 純資産合計 | <u>161,827</u> | <u>203,694</u> |
| 負債純資産合計 | <u>4,322,648</u> | <u>4,348,170</u> |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,578,809 | 1,559,933 |
| 売上原価 | 1,248,926 | 1,244,053 |
| 売上総利益 | 329,883 | 315,880 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費及び一般管理費合計 | 323,818 | 309,677 |
| 営業利益 | 6,064 | 6,202 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 696 | 731 |
| 受取配当金 | 135 | 176 |
| 持分法による投資利益 | 21,020 | 26,143 |
| 為替差益 | 10,115 | 7,981 |
| 業務受託料 | 8,701 | 9,247 |
| 貸倒引当金戻入額 | 630 | — |
| その他 | 19,992 | 3,186 |
| 営業外収益合計 | 61,291 | 47,466 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34,587 | 32,173 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 1,530 |
| その他 | 13,693 | 17,155 |
| 営業外費用合計 | 48,280 | 50,859 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 19,075 | 2,810 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 516 |
| 特別損失合計 | — | 516 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△) | 19,075 | 2,293 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,899 | 3,132 |
| 法人税等調整額 | 9,400 | 6,583 |
| 法人税等合計 | 18,299 | 9,716 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 775 | △7,423 |
| 少数株主利益 | 2,002 | 2,194 |
| 四半期純損失(△) | △1,227 | △9,617 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 775 | △7,423 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △88 | 1,859 |
| 為替換算調整勘定 | 15,855 | 11,783 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 295 | 31 |
| その他の包括利益合計 | 16,062 | 13,675 |
| 四半期包括利益 | 16,837 | 6,252 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 12,389 | 4,559 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 4,448 | 1,692 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 19,075 | 2,293 |
| 減価償却費 | 14,282 | 12,198 |
| のれん償却額 | 877 | 877 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △11,533 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | — | △4,243 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △863 | 1,758 |
| 受取利息及び受取配当金 | △831 | △908 |
| 支払利息 | 34,587 | 32,173 |
| 為替差損益(△は益) | △4,530 | △8,244 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △21,020 | △26,143 |
| 有形固定資産除却損 | — | 516 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 43,299 | 79,125 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 8,540 | 4,990 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 120,311 | △10,219 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △94,186 | △33,527 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △94,434 | 23,497 |
| その他 | 96,983 | 27,195 |
| 小計 | 110,556 | 101,340 |
| 利息及び配当金の受取額 | 124 | 149 |
| 利息の支払額 | △36,034 | △32,223 |
| 法人税等の支払額 | △11,895 | △5,973 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 62,751 | 63,292 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,975 | △9,234 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | — |
| その他 | — | △150 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,974 | △9,384 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △41,777 | △26,542 |
| 長期借入金の返済による支出 | △19,837 | △18,869 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △37 |
| その他 | △359 | △368 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △61,974 | △45,818 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,742 | △1,836 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,545 | 6,253 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 47,566 | 50,210 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 50,111 | 56,463 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、22,142千円の営業損失でありましたが、営業キャッシュ・フローは107,061千円のプラスであります。

当第2四半期連結累計期間におきましては6,202千円の営業利益を確保しましたが、これまで資金調達のほとんどを金融機関各社に依存してきたことにより、当第2四半期連結会計期間末において有利子負債が2,225,391千円となっております。

当社グループにおきましては、前期から引き続き、受注高が増加傾向で推移している中、生産子会社において増産計画が未実現のまま推移した事により、同社の収益が悪化いたしました。今後におきましては、生産体制の整備をさらに推し進め、計画に沿った売上を実現し、利益改善に向けて継続して努力してまいります。

しかしながら、景気の不透明感が長引いている状況下において、受注動向の先行きは、必ずしも安定的に推移する見通し感が得られず、今後計画通りの売上を実現していく上において厳しい局面も予想されます。

その結果、返済原資の確保が困難となる事実の発生、および新規資金の調達について困難な局面も予想され、今後の資金繰りへ直接影響を及ぼすことが懸念される状況は続いております。

これらの状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

今後は、なお一層のコスト圧縮に努めるとともに、計画通りの売上高の実現を持って収益構造の改善を図ってまいります。

また、財務基盤の強化を図るため、収益の確保はもちろんのこと、取引金融機関に対しなお一層の協力・支援を要請しております。

しかし、これらの施策による効果の発現については、関係先との明確な合意を要する事案もあり、すべてを確定するに十分な状況には至っておらず、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年5月31日付で、山陽電子工業株式会社を割当先とする現物出資(デット・エクイティ・スワップ)による第三者割当増資を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ24,998千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,594,109千円、資本剰余金が786,119千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、「電源機器関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループは、「電源機器関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

〔訂正前〕



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日
上場取引所 東上場会社名 イーター電機工業株式会社
コード番号 6891 URL <http://www.eta.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 浩之
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部长 (氏名) 増田 幸一

TEL 03-3745-7762

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|--------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 1,559 | △1.2 | 6 | 2.3 | △2 | △117.4 | △14 | — |
| 26年3月期第2四半期 | 1,578 | △0.3 | 6 | △92.7 | 13 | △50.8 | △7 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1百万円 (△89.8%) 26年3月期第2四半期 11百万円 (△27.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | △1.46 | — |
| 26年3月期第2四半期 | △0.74 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 4,303 | 158 | 3.1 | 12.96 |
| 26年3月期 | 4,282 | 122 | 2.3 | 10.40 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 134百万円 26年3月期 98百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | | | |
| 27年3月期(予想) | | | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,600 | 11.5 | 130 | — | 140 | — | 100 | — | 10.52 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|-------------|----------|------------|
| 27年3月期2Q | 10,373,067株 | 26年3月期 | 9,511,067株 |
| 27年3月期2Q | 7,171株 | 26年3月期 | 6,546株 |
| 27年3月期2Q | 10,083,519株 | 26年3月期2Q | 9,504,521株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関する事項につきましては、平成26年5月15日に公表した業績予想に変更はございません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(訂正前)

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、一部には4月の消費税増税による駆け込み需要の反動は見られるものの、企業収益や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、円安による原材料や原油価格の上昇、新興国の経済成長鈍化など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

この様な状況の下、当社グループにおきましては、前期から引き続き、受注高が増加傾向で推移している中、生産子会社において増産計画が未実現のまま推移した事により、同社の収益が悪化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高1,559百万円(前年同四半期比1.2%減)、経常損失2百万円(前年同四半期は経常利益13百万円)、四半期純損失14百万円(前年同四半期は四半期純損失7百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、「電源機器関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,303百万円となり、前連結会計年度末比20百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が21百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,144百万円となり、前連結会計年度末比16百万円の減少となりました。これは主に前受金が79百万円増加した一方、借入金が97百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は158百万円となり、前連結会計年度末比36百万円の増加となりました。これは主に増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ24百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は3.1%となり、前連結会計年度末から0.8ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度におきまして、22,142千円の営業損失でありましたが、営業キャッシュ・フローは107,061千円のプラスであります。

当第2四半期連結累計期間におきましては6,202千円の営業利益を確保しましたが、これまで資金調達のほとんどを金融機関各社に依存してきたことにより、当第2四半期連結会計期間末において有利子負債が2,225,391千円となっております。

当社グループにおきましては、前期から引き続き、受注高が増加傾向で推移している中、生産子会社において増産計画が未実現のまま推移した事により、同社の収益が悪化いたしました。今後におきましては、生産体制の整備をさらに推し進め、計画に沿った売上を実現し、利益改善に向けて継続して努力してまいります。

しかしながら、景気の不透明感が長引いている状況下において、受注動向の先行きは、必ずしも安定的に推移する見通し感が得られず、今後計画通りの売上を実現していく上において厳しい局面も予想されます。

その結果、返済原資の確保が困難となる事実の発生、および新規資金の調達について困難な局面も予想され、今後の資金繰りへ直接影響を及ぼすことが懸念される状況は続いております。

これらの状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

今後は、なお一層のコスト圧縮に努めるとともに、計画通りの売上高の実現を持って収益構造の改善を図ってまいります。

また、財務基盤の強化を図るため、収益の確保はもちろんのこと、取引金融機関に対しなお一層の協力・支援を要請しております。

しかし、これらの施策による効果の発現については、関係先との明確な合意を要する事案もあり、すべてを確定するに十分な状況には至っておらず、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 50,210 | 56,463 |
| 受取手形及び売掛金 | 73,272 | 77,472 |
| 商品及び製品 | 611,178 | 728,591 |
| 仕掛品 | 415,581 | 378,318 |
| 原材料及び貯蔵品 | 918,153 | 866,593 |
| その他 | 293,865 | 259,886 |
| 貸倒引当金 | △6,431 | △6,412 |
| 流動資産合計 | 2,355,829 | 2,360,912 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 953,601 | 953,082 |
| その他(純額) | 143,028 | 142,980 |
| 有形固定資産合計 | 1,096,630 | 1,096,062 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 24,585 | 23,707 |
| その他 | 24,714 | 20,372 |
| 無形固定資産合計 | 49,300 | 44,079 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 719,302 | 740,667 |
| その他 | 102,736 | 104,011 |
| 貸倒引当金 | △40,938 | △42,469 |
| 投資その他の資産合計 | 781,101 | 802,209 |
| 固定資産合計 | 1,927,031 | 1,942,351 |
| 資産合計 | 4,282,861 | 4,303,263 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 792,539 | 798,076 |
| 短期借入金 | 1,483,616 | 1,404,712 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 628,389 | 611,535 |
| 未払法人税等 | 13,441 | 12,498 |
| 前受金 | 872,687 | 951,812 |
| その他 | 223,560 | 226,426 |
| 流動負債合計 | 4,014,235 | 4,005,061 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 39,253 | 37,237 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,988 | 1,988 |
| 退職給付に係る負債 | 102,459 | 98,215 |
| その他 | 2,884 | 1,978 |
| 固定負債合計 | 146,585 | 139,420 |
| 負債合計 | 4,160,821 | 4,144,481 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,569,111 | 1,594,109 |
| 資本剰余金 | 761,121 | 786,119 |
| 利益剰余金 | <u>△2,269,478</u> | <u>△2,284,221</u> |
| 自己株式 | △1,949 | △1,986 |
| 株主資本合計 | <u>58,805</u> | <u>94,020</u> |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,258 | 5,149 |
| 為替換算調整勘定 | 36,809 | 35,136 |
| その他の包括利益累計額合計 | 40,067 | 40,286 |
| 少数株主持分 | 23,166 | 24,475 |
| 純資産合計 | <u>122,040</u> | <u>158,782</u> |
| 負債純資産合計 | <u>4,282,861</u> | <u>4,303,263</u> |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,578,809 | 1,559,933 |
| 売上原価 | 1,248,926 | 1,244,053 |
| 売上総利益 | 329,883 | 315,880 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費及び一般管理費合計 | 323,818 | 309,677 |
| 営業利益 | 6,064 | 6,202 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 696 | 731 |
| 受取配当金 | 135 | 176 |
| 持分法による投資利益 | 15,215 | 21,017 |
| 為替差益 | 10,115 | 7,981 |
| 業務受託料 | 8,701 | 9,247 |
| 貸倒引当金戻入額 | 630 | — |
| その他 | 19,992 | 3,186 |
| 営業外収益合計 | 55,486 | 42,341 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34,587 | 32,173 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 1,530 |
| その他 | 13,693 | 17,155 |
| 営業外費用合計 | 48,280 | 50,859 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 13,270 | △2,315 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 516 |
| 特別損失合計 | — | 516 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△) | 13,270 | △2,832 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,899 | 3,132 |
| 法人税等調整額 | 9,400 | 6,583 |
| 法人税等合計 | 18,299 | 9,716 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △5,029 | △12,548 |
| 少数株主利益 | 2,002 | 2,194 |
| 四半期純損失(△) | △7,032 | △14,743 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | <u>△5,029</u> | <u>△12,548</u> |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △88 | 1,859 |
| 為替換算調整勘定 | 15,855 | 11,783 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 295 | 31 |
| その他の包括利益合計 | 16,062 | 13,675 |
| 四半期包括利益 | <u>11,032</u> | <u>1,126</u> |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | <u>6,584</u> | <u>△566</u> |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 4,448 | 1,692 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 13,270 | △2,832 |
| 減価償却費 | 14,282 | 12,198 |
| のれん償却額 | 877 | 877 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △11,533 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | — | △4,243 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △863 | 1,758 |
| 受取利息及び受取配当金 | △831 | △908 |
| 支払利息 | 34,587 | 32,173 |
| 為替差損益(△は益) | △4,530 | △8,244 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △15,215 | △21,017 |
| 有形固定資産除却損 | — | 516 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 43,299 | 79,125 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 8,540 | 4,990 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 120,311 | △10,219 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △94,186 | △33,527 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △94,434 | 23,497 |
| その他 | 96,983 | 27,195 |
| 小計 | 110,556 | 101,340 |
| 利息及び配当金の受取額 | 124 | 149 |
| 利息の支払額 | △36,034 | △32,223 |
| 法人税等の支払額 | △11,895 | △5,973 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 62,751 | 63,292 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,975 | △9,234 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | — |
| その他 | — | △150 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,974 | △9,384 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △41,777 | △26,542 |
| 長期借入金の返済による支出 | △19,837 | △18,869 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △37 |
| その他 | △359 | △368 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △61,974 | △45,818 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,742 | △1,836 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,545 | 6,253 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 47,566 | 50,210 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 50,111 | 56,463 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、22,142千円の営業損失でありましたが、営業キャッシュ・フローは107,061千円のプラスであります。

当第2四半期連結累計期間におきましては6,202千円の営業利益を確保しましたが、これまで資金調達のほとんどを金融機関各社に依存してきたことにより、当第2四半期連結会計期間末において有利子負債が2,225,391千円となっております。

当社グループにおきましては、前期から引き続き、受注高が増加傾向で推移している中、生産子会社において増産計画が未実現のまま推移した事により、同社の収益が悪化いたしました。今後におきましては、生産体制の整備をさらに推し進め、計画に沿った売上を実現し、利益改善に向けて継続して努力してまいります。

しかしながら、景気の不透明感が長引いている状況下において、受注動向の先行きは、必ずしも安定的に推移する見通し感が得られず、今後計画通りの売上を実現していく上において厳しい局面も予想されます。

その結果、返済原資の確保が困難となる事実の発生、および新規資金の調達について困難な局面も予想され、今後の資金繰りへ直接影響を及ぼすことが懸念される状況は続いております。

これらの状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

今後は、なお一層のコスト圧縮に努めるとともに、計画通りの売上高の実現を持って収益構造の改善を図ってまいります。

また、財務基盤の強化を図るため、収益の確保はもちろんのこと、取引金融機関に対しなお一層の協力・支援を要請しております。

しかし、これらの施策による効果の発現については、関係先との明確な合意を要する事案もあり、すべてを確定するに十分な状況には至っておらず、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年5月31日付で、山陽電子工業株式会社を割当先とする現物出資(デット・エクイティ・スワップ)による第三者割当増資を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ24,998千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,594,109千円、資本剰余金が786,119千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、「電源機器関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループは、「電源機器関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。